

# 1. 評価結果概要表

作成日平成19年9月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271101554		
法人名	社会福祉法人 清潮会		
事業所名	グループホーム しおさい		
所在地	長崎県西海市崎戸町蛸浦郷17番地26 (電話)0959-29-3111		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	H19年9月5日	評価確定日	H19年9月26日

## 【情報提供票より】(H19年8月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8 人, 非常勤	人, 常勤換算 7.76 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		780 円	

### (4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	76 歳	最高	89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	山崎医院 あらき歯科医院 中村医院
---------	-------------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑豊かな潮風香る閑静な丘の上に佇んでいる当ホームの室内は、明るく、開放的である。椅子やソファが置かれ、ゆったりと落ち着き、あちこちに飾られた季節の花々には、ほっと和ませられる。20代～60代の各年代での職員との関わりを、入居者は共に馴染まれている事が窺える。職員は入居者の為に、職員間のコミュニケーションを第一に、ご家族との連携を大切に携わってられる。絵手紙から広がる和の作りものは、季節を題材に壁面を数ヶ所飾っていた。職員は、入居者から学び支えられることも多く、「少しの失敗もみんな成功」と励まされ元気を獲得する場面もあり、和やかに笑顔の絶えないホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>入居者の権利と義務の重要事項説明書等への明記や、連絡ノート等の閲覧の管理者のサインの確認、調理の工夫の配慮、個人記録にはプランの気づきの記入欄など改善が見られた。しかし、個人記録については、プランの目標全てを、その日、どの程度意識してケアしたかの記載をする等、改善が期待される。又、調理の工夫については、さらなる高齢者への食の知識と技術の研鑽に期待する。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の意義は、運営者・管理者から伝えられ、職員は、休憩時間や、業務の合間を見計らいながらや、ミーティング、ケア会議のときに話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>西海市は合併後の新市の事情から、6グループホーム合同の運営推進会議として、12グループホーム参加の西海地区認知症ケア研究会の中に位置づけられている。「各事業所が自らが設置するものである」との省令をふまえ、今後はさらに前進し、ホーム単独で、地域に根ざした運営推進会議をめざして、取り組んで行かれることを希望する。基準省令85条の解釈通知に鑑み、母体施設と連携し、これまで培ってきた、運営の蓄積等を、運営推進会議の本来の目的が達成せられるように、自信を持って、積極的に新市にも働きかけていく事に期待する。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7.8)</p> <p>ご家族面会の折は、よく声かけし、そのたびに暮らしぶりや、健康のこと等状況報告がなされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>開設当初、運営母体が地域外からの参入という事で、地域から受け入れられる事が困難な状況であったが、積極的に挨拶を交わしたり、地域の行事に参加するなど、職員他、これまでの地道な積み重ねは、今や「火事になったら火消しは任せとかんね、あんたたちはお年寄りを」と言ってもらえるまでの関係作りとなっている。今後更に、地域との交流を、事業所にとって必要な時だけ行うのではなく、共に暮らす住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担っていくよう努力して行かれることに期待する。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は従来どおりのものが玄関に掲げられ、リビングにも「明るく・楽しく・ゆっくり」とホームの理念がわかりやすく明示されている。しかし、特に地域の中でその人らしく暮らし続ける事を支える役割を目指した内容となっていない。パンフレットの改定を機に、理念の見直しも検討予定とのこと。		これまでの理念に加えて、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容となっている事が求められる。地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、地域の中でその人らしく生活する事を支えるケアの具体的なイメージを持って理念を作り上げられることに期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時、異動時には、必ず理念を伝え、理解してもらうようにしている。職員は、日々のサービスに「明るく・楽しく・ゆっくり」を常に意識し、言葉かけや態度で実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地道な職員の日常の関わりにおいて、近隣住民との良好な関係作りがなされている。しかし、共に暮らす住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担うまでには至っていない。		地域住民の一員として、町会・自治会等に参加し、町民清掃、リサイクル活動などの地域活動に参加したり、老人会、子供会等とも接点を持ち、事業所と地域の人々が支えあうような双方向関係の振り返りに期待する。
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価は、「外部者の目を通して自分たちのケアサービスを振り返るもので、更なる質の向上に向けたためのもの」と運営者・管理者より、その意義が伝えられており、職員も理解し、全員で取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	西海地区認知症ケア研究会の中に位置づけられた6事業所合同での運営推進会議であるが、当町から民生委員、区長会、家族代表等の参加がある。18年7・9月に開催後、今年になって8月29日開催のみである。		地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支える役割を持つ地域密着型サービスの中の運営推進会議であるという原点に立ち、その本来の目的が達せられるように、事業所側からも西海市に積極的に働きかけていくことが望まれる。又、各事業所が自ら設置するものであり、2ヶ月に1回の開催に期待する。

グループホーム しおさい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の参加に当たっては、電話でのやり取り等積極的に働きかけている。しかし共に取り組むところまでには至っていない。		合併後の新市でスムーズな関わりが取りにくい状況があるかもしれないが、事業所側からは引き続き、情報提供を行う事が望まれる。又、事業所の考え方や実態を担当者によく知ってもらい、現場や入居者の問題解決の為に、考え方や、実態を共有していくことを大切に、積極的な協働関係の構築に期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の面会が多く、面会時や電話連絡の折、状況報告がなされている。毎月の請求時には、管理者が必ず入居者のエピソードを盛り込んでいる。預り金については、適時に領収書を渡し、報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱が設置されている。家族会も設けられている。ご家族の面会が多く随時の状況報告時や、ケアプラン作成時等に、意見を聞きだすように努めておられる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動があれば、前もって入居者に紹介し、馴染んでもらうように努めている。色々な入居者との会の折は、必ず新人が先に話しをするように働きかけるなど、入居者とのスムーズな関係作りに努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体法人内で各種委員会や研修等活発に行われ、月に1度は参加している。受講は自主性に任せられているが、外部研修の案内や受講も奨励され、交代して受講されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回西海市のグループホーム認知症ケア研究会で、同業者との交流があり情報交換している。職員はケアの研修等自主的に取り組み、質の向上に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事情により入居が急がれるような方でも、ご本人の安心が一番と、職員の声掛けや対応に配慮があり、ご本人に納得していただけるように、ご家族とも相談しながら、馴染めるような役割の工夫もされていた。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>旅館の女将さんだった方からは買い物を目利き・仕込みの逆算を学んだり、「小さな失敗も何でも成功！」と励まされて元気になったりなど、共に過ごし、学び、支えあう関係が日々の生活場面で見られている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者には入浴等リラックスしている時や、ご家族来訪の折話をうかがうなど、職員は、一人ひとりの思いや、意向の把握に関心を持ち、その把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族には、日頃の関わりの中で、思いや希望を聞き出し、ケアカンファレンス時に担当者・職員全員で気づきを出し合い、介護計画が作成される。又、ご家族への提案もなされ話し合われている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月に1度のケア会議のときに、介護計画と照らし合わせて、評価を行い、ご家族の要望、ご本人の状態・希望等にずれがないか等、見直しをしている。</p>		

グループホーム しおさい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所内他グループホームとの交流・個別の病院受診・本部特養施設訪問・行事参加など、その時々に入居者の希望にも応じ、個々の満足度が高められるように、柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医院のほか、それぞれのかかりつけ医に受診の支援があり、ご家族とも協力しながら、通院介助の支援がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、または終末期を迎えてからの対応は、ご本人、ご家族・主治医との連携は丁寧で納得のいく対応がされている。しかし終末期になる以前にできるだけ早期から、重度化した場合の対応のあり方や、終末期における医療措置の対応等について、ご家族等へ事業所の方針等を説明し、共有した医師確認書等ははまだ用意されていない。		その時になってというのではなく、重度化・終末期に伴い、事業所が対応しうる最大のケアについて、又、ゆっくりと終末期を迎えられる為にも、入居者がどこで最期を看取られたいか、どなたに来て欲しいか等、比較的早い段階から家族等に聞き取り、説明し、意思確認書等準備されることに期待する。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄に失敗した際、ご本人にだけわかるように声掛けし、他の入居者にはわからないよう別のところへ誘導し着替えの支援をされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩をされる方には、見守っておられたり、本を転記するのがお好きな方には、居室に畳を敷きこみ、落ち着いてできるような支援がなされていた。それぞれの体調に配慮し、その日、その時のご本人の気持ちを尊重し、出来るだけ個別性のある支援を行っている。		

グループホーム しおさい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根きり、野菜の皮むき等調理の下ごしらえや、後片付け、テーブル拭きなど入居者の個々の力を活かしながら職員も共に行っている。入居者と職員は同じ食卓を囲み、同じものを頂き、楽しく食事できるような雰囲気作りがされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を希望する方には毎日でも入っていただいている。入浴を拒む方には、一番信頼している方の名前で「その方に頼まれたよ」などと促す声かけに工夫されている。又、清拭にするなど柔軟に対応している。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	絵手紙講座で作成された葉書は、実際にご家族へ出され、ご家族の喜びの報告へと繋がっている。もやしの根きり、洗濯物干し、たたみ、元漁師さんの網の修理、旅館の女将さんには買い物目利きなど、入居者の方の経験や知恵を発揮する場面作りの工夫があり、職員は感謝の言葉やねぎらいの言葉も忘れていない。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者が、散歩に一人で行って帰ってこられるように、要所要所での見守りや、商店の協力を、予めお願いしておき、一人での買い物・支払いの機会も作られ、自由に柔軟な支援がなされている。暑いときは夕方になったりするが、わずかな時間でも外へ出るようにと状況に応じた支援がなされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵はかけられていない。玄関横の事務室に職員がいるときはセンサーは解除している。外出を希望する入居者の様子があれば、止めるのではなく、安全に配慮しながら、一人ひとりのその日の気分や状態に応じて、付き添う、見守る等、自由に柔軟な支援がなされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災による避難訓練は月1回行われており、消防団、民生委員・近隣施設への協力関係作りにも尽力されている。入居者も交えて具体的に行われている。		

グループホーム しおさい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況は個人記録に記載され、把握されている。調理は咀嚼や嚥下状態に合わせて工夫し、入居者の状態に合わせて、介助の支援がなされていた。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の居室には、それぞれの居宅として、住所に番地の木札と、大きな手作りの表札が掲げられていた。分かりやすいようにと大きな「べんじょ」の案内も目線に配慮されおり、強い日差しには、御簾が立てかけてある。又、随所にソファや椅子が置いてあり、入居者の方が思い思いに過ごせる配慮があった。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳の生活がよい方には畳が設えてあり、文机、筆にすずり、書籍、タンス等持ち込まれていた。額に入れた写真なども飾られており、ベッド上部に、時計、ラジオ等設置している方もおられ、その人らしい居室の支援がなされていた。		